

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備	夜・通信	174	160	
	1級自動車整備	夜・通信	340	320	
工業専門課程	車体整備	夜・通信	256	240	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.mito.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.mito.ac.jp

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	令和3.4.1～ 令和6.3.31	企画
非常勤	一般企業 社取締役	令和3.4.1～ 令和6.3.31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 支店長	令和3.4.1～ 令和6.3.31	労務
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。毎年8月にシラバスを公表する。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、到達目標、成績評価に準ずる。 ・職業実践委員会8月・3月にて協議し変更がある場合、新しい授業計画(シラバス)を作成し国土交通省に提出する。 ・日本自動車整備振興会連合会発行による教科書の改訂があった場合、新しい授業計画(シラバス)を作成し国土交通省に提出する。 	
授業計画書の公表方法	https://www.mito.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。 ・学則第11条(成績評価)に定める、授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の終了は、次のとおりである。全科目の履修時間が学則第9条別表1に定める授業時数の100%である者となる。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、あらかじめ設定した算出方法により、生徒ごとに履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の平均を算出する。また、その平均成績の分布と下位1/4に該当する人数及びその指標の数値を学科、学年ごとに算出している。国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の試験による成績+実務作業+人物評価+出席状況+授業態度+レポート評価の総合基準に準ずる。 ・学則第11条(成績評価)に定める、授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の合格は100点満点による70点以上とする。 ・再試験で合格した者には70点と記録する。 ・教科の出席率(補習を含む)が100%未満のものは、成績を記録しない。 ・試験は、学科については筆記試験、実習については実技試験を行う。ただし、場合によっては、口頭試問若しくは研究調査報告をもって、これに代えることができる。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.mito.ac.jp
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価を基に卒業認定を実施する。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。 ・各教科の修了は、次のとおりである。全科目の履修時間が学則第9条に定める授業時数の100%である者となる。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.mito.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.mito.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	https://www.mito.ac.jp
財産目録	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
事業報告書	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け・閲覧・配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1,986.4 単位時間/単位	768 単位 時間/単位	単位時間 /単位	1223.4 単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		59人	0人	7人	0人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施する。
学修支援等
（概要） ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (%)	20人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等			
（就職指導内容） 主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、実習試験対策として実習作業指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級自動車整備士、危険物乙種第4類取扱者の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	1人	2.4%
（中途退学の主な理由） ・授業についていけない、思っていたのと違う、精神的な不安感を感じる。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・学力においては補習を対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。 ・悩みを抱える学生に対しカウンセラーによる相談窓口を設けている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	1級自動車整備		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,076.8 単位時間/単位	1294 単位時間 /単位		2787.8 単位時間 /単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		13人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する自動車整備、車体整備、1級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
（概要） ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (%)	4人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等			
（就職指導内容） 主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、実習試験対策として実習作業指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級自動車整備士、1級小型自動車整備士、危険物乙種第4類取扱者の受験資格			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
(中途退学の主な理由) 成績不振、鬱的な生活状況のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学力においては補習を対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。 ・悩みを抱える学生に対しカウンセラーによる相談窓口を設けている。		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	車体整備	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2,978.4 単位時間/単位	1041 単位時間 /単位		1937.4 単位時間 /単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		20人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業時間、成績評価に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
（概要） ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売等			
（就職指導内容） 主催する企業の会社訪問を必須とし採用試験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、実習試験対策として実習作業指導等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	1人	7.1%
(中途退学の主な理由) 結婚と生活の維持で学生生活が継続できないため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・悩みを抱える学生に対しカウンセラーによる相談窓口を設けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車	150000 円	600000 円	730000 円	その他 (実習費 250,000 円、 施設設備費 250,000 円、教材 費・学校行事費 230,000 円)
車 体	150000 円	600000 円	730000 円	
1 級	150000 円	600000 円	730000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
https://www.mito.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
教育課程編成委員会を通期開催し審議する案件を協議し教育活動を決定する。年度末、学校自己評価報告書に基づき企業からの選抜された委員により、学校関係者評価委員による評価をつけてもらい、次年度の改善等を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
茨城大学理学部教授	2021年4月1日～ 2023年3月31日	有識者
茨城ダイハツ販売株式会社 取締役 管理本部長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
株式会社スズキ自販茨城 常務執行役員 サービス部品本部長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
茨城トヨペット株式会社 人事課 課長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
株式会社北関東マツダ 管理部 採用グループ長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
茨城トヨタ自動車株式会社 総務部人事G チームリーダー係長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
日産プリンス茨城販売株式会社 サービス部次長	2022年4月1日～ 2027年3月31日	企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.mito.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

https://www.mito.ac.jp

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。

*添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」

令和3年度

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	自動車整備学科	学年	1	学生数	20	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人数	0	1	4	4	6	5
下位1/4に該当する人数			5人			
下位1/4に該当する指標の数値		81点以下	70点以下			
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	自動車整備学科	学年	2	学生数	20	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人数	0	0	0	3	8	9
下位1/4に該当する人数			5人			
下位1/4に該当する指標の数値		90点以下				

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	1	学生数	3	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	1	1	1
下位1/4に該当する人数		0.75 人				
下位1/4に該当する指標の数値		点以下				
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	2	学生数	2	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	0	1	1
下位1/4に該当する人数		0.5 人				
下位1/4に該当する指標の数値		点以下				
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	1級自動車整備学科	学 年	3	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	1	0	3
下位1/4に該当する人数		1 人				
下位1/4に該当する指標の数値		80 点以下				

客観的な指標の算出方法

履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)

* 単元テスト1回目の単元成績を算出

学科名	1級自動車整備学科	学 年	4	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	0	1	3
下位1/4に該当する人数			1 人			
下位1/4に該当する指標の数値			83 点以下			

客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	車体整備学科	学 年	1	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	1	3	0	0
下位1/4に該当する人数			1 人			
下位1/4に該当する指標の数値			70 点以下			
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	車体整備学科	学 年	2	学生数	4	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	1	1	2
下位1/4に該当する人数			1 人			
下位1/4に該当する指標の数値			80 点以下			
客観的な指標の算出方法						
履修科目、全科目合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)						
* 単元テスト1回目の単元成績を算出						
学科名	車体整備学科	学 年	3	学生数	2	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51	61	71	81	91
		～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
人 数	0	0	0	0	1	1
下位1/4に該当する人数			0.5 人			
下位1/4に該当する指標の数値			点以下			

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<自動車整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	15	○
ガソリン1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
ガソリン2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ガソリン3	近馬克之・仲田格・芹田里美	14	○
ガソリン4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
ジーゼル1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ジーゼル2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
ジーゼル3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
ジーゼル4	近馬克之・仲田格・芹田里美	22	○
シャン1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
シャン2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	30	○
シャン3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
シャン4	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
シャン5	近馬克之・仲田格・芹田里美	23	○
力数 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
力数 2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
力数 3	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
力数 4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
電子工学2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
電子工学3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	9	○
電子工学4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学5	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
材料	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
図面	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
自動車工学演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
ガソリン5	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	17	○
ガソリン6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
ジーゼル5	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
シャン6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	22	○
シャン7	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
シャン8	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
シャン9	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
電子工学6	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
故障探求	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
自動車整備演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	50	○
整備機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
測定	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査	近馬克之・仲田格・芹田里美	24	○
法令Ⅰ	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
法令Ⅱ	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
(情報技術1)	今井俊之	20	
(情報技術2)	鬼澤勝彦	20	
(文書技法1)	雨谷俊宏・沼口洋	20	○
(倫理社会1)	雨谷俊宏・沼口洋	5	○
機械工作作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
計測作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エンジン本体	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
G噴射装置	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
ジーゼル整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
二輪2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
重整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
タイヤ整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
動力伝達装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ステアリング装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ブレーキ装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
サスペンション	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
二輪1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
トラック整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
A/T	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
二輪3	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
基本点検作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
基礎電気	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
電気装置1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
電気装置2	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エアコンシステム	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
車体電装1	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
車体電装2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
ガソリン診断	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○	
故障探求	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○	
問診整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○	
二輪車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○	
車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○	
単位時間総数		1986.4	実務経験のある教員等による授業科目単位時間	1946.4単位時間
省令定めた授業時数		174時間		

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<一級自動車整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	15	○
ガソリン1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
ガソリン2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ガソリン3	近馬克之・仲田格・芹田里美	14	○
ガソリン4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
ジーゼル1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ジーゼル2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
ジーゼル3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
ジーゼル4	近馬克之・仲田格・芹田里美	22	○
シャシ1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
シャシ2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	30	○
シャシ3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
シャシ4	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
シャシ5	近馬克之・仲田格・芹田里美	23	○
力数 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
力数 2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
力数 3	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
力数 4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
電子工学2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
電子工学3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	9	○
電子工学4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学5	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
材料	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
図面	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
自動車工学演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
ガソリン5	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	17	○
ガソリン6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
ジーゼル5	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
シャシ6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	22	○
シャシ7	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
シャシ8	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
シャシ9	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
電子工学6	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
故障探求	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
自動車整備演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	50	○
整備機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
測定	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査	近馬克之・仲田格・芹田里美	24	○
法令Ⅰ	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
法令Ⅱ	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
(情報技術1)	今井俊之	20	
(情報技術2)	鬼澤勝彦	20	
(文書技法1)	雨谷俊宏・沼口洋	20	○
(倫理社会1)	雨谷俊宏・沼口洋	5	○
機械工作作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
計測作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エンジン本体	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
G噴射装置	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
ジーゼル整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
二輪2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
重整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
タイヤ整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
動力伝達装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ステアリング装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ブレーキ装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
サスペンション	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
二輪1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
トラック整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
A/T	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
二輪3	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
基本点検作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
基礎電気	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
電気装置1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
電気装置2	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エアコンシステム	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
車体電装1	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
車体電装2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
ガソリン診断	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
故障探求	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
問診整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
二輪車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○
車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○
自動車工学1	平根清一・今川義光・舘雅実	10	○
自動車工学2	平根清一・今川義光・舘雅実	25	○
自動車工学3	平根清一・今川義光・舘雅実	25	○
電子工学	平根清一・今川義光・舘雅実	50	○
エンジン工学	平根清一・今川義光・舘雅実	26	○
システム工学1	平根清一・今川義光・舘雅実	30	○
システム工学2	平根清一・今川義光・舘雅実	33	○
システム工学3	平根清一・今川義光・舘雅実	24	○
システム工学4	平根清一・今川義光・舘雅実	55	○
高度故障診断技術1	平根清一・今川義光・舘雅実	16	○
高度故障診断技術2	平根清一・今川義光・舘雅実	16	○
総合診断	平根清一・今川義光・舘雅実	10	○
環境保全論	平根清一・今川義光・舘雅実	10	○
安全管理学	平根清一・今川義光・舘雅実	10	○
自動車機器	平根清一・今川義光・舘雅実	18	○
法令	平根清一・今川義光・舘雅実	12	○
自動車概論	平根清一・今川義光・舘雅実	80	○
情報技術3	助川正己	20	
環境論	平根清一・今川義光・舘雅実	30	○
経営学	宮部原一郎	20	
工作作業	平根清一・今川義光・舘雅実	14	○
自動車検査	平根清一・今川義光・舘雅実	6	○
測定作業	平根清一・今川義光・舘雅実	14	○
エンジン本体G	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
エンジン本体D	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
特殊機構	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
燃料装置G	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
燃料装置D	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
動力伝達	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
ステアリング装置	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
ブレーキ装置	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○
サスペンション	平根清一・今川義光・舘雅実	42	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
基礎電装	平根清一・今川義光・館雅実	42	○	
応用電装	平根清一・今川義光・館雅実	42	○	
故障探究1	平根清一・今川義光・館雅実	42	○	
故障探究2	平根清一・今川義光・館雅実	42	○	
故障探究3	平根清一・今川義光・館雅実	35	○	
検査作業	平根清一・今川義光・館雅実	24.4	○	
ビジネスマナー	平根清一・今川義光・館雅実	14	○	
体験実習	平根清一・今川義光・館雅実	210	○	
基礎実習	平根清一・今川義光・館雅実	35	○	
総合実習	平根清一・今川義光・館雅実	602	○	
卒業研究	平根清一・今川義光・館雅実	70	○	
単位時間総数		4076.8	実務経験のある教員等による授業科目単 位時間	4002.8単位時間
省令定めた授業時数		340時間		

実務経験のある教員等による授業科目一覧

<車体整備学科>

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
基礎自動車工学	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	15	○
ガソリン1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
ガソリン2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ガソリン3	近馬克之・仲田格・芹田里美	14	○
ガソリン4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
ジーゼル1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	7	○
ジーゼル2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
ジーゼル3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
ジーゼル4	近馬克之・仲田格・芹田里美	22	○
シャシ1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
シャシ2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	30	○
シャシ3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
シャシ4	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
シャシ5	近馬克之・仲田格・芹田里美	23	○
力数 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	23	○
力数 2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
力数 3	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
力数 4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学 1	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	16	○
電子工学2	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	25	○
電子工学3	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	9	○
電子工学4	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
電子工学5	近馬克之・仲田格・芹田里美	13	○
材料	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
燃料・潤滑	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	8	○
図面	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
自動車工学演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
ガソリン5	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	17	○
ガソリン6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
ジーゼル5	近馬克之・仲田格・芹田里美	20	○
シャシ6	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	22	○
シャシ7	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	10	○
シャシ8	近馬克之・仲田格・芹田里美	11	○
シャシ9	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○
電子工学6	近馬克之・仲田格・芹田里美	19	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目
故障探求	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
自動車整備演習	近馬克之・仲田格・芹田里美	50	○
整備機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	13	○
測定	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査機器	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	12	○
検査	近馬克之・仲田格・芹田里美	24	○
法令Ⅰ	雨谷俊宏・沼口洋・芹田里美	11	○
法令Ⅱ	近馬克之・仲田格・芹田里美	15	○
(情報技術1)	今井俊之	20	
(情報技術2)	鬼澤勝彦	20	
(文書技法1)	雨谷俊宏・沼口洋	20	○
(倫理社会1)	雨谷俊宏・沼口洋	5	○
機械工作作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
計測作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エンジン本体	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
G噴射装置	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
ジーゼル整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
二輪2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
重整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
タイヤ整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
動力伝達装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ステアリング装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
ブレーキ装置	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
サスペンション	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
二輪1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
トラック整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
A/T	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
二輪3	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
特殊機構2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
基本点検作業	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	33.4	○
基礎電気	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	24.2	○
電気装置1	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
電気装置2	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○
エアコンシステム	近馬克之・仲田格・大森秀幸	35.6	○
車体電装1	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○
車体電装2	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○

科目名	担当者名	単位時間	実務経験のある教員等による授業科目	
ガソリン診断	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○	
故障探求	近馬克之・仲田格・大森秀幸	47.4	○	
問診整備	雨谷俊宏・沼口洋・大森秀幸	47.4	○	
二輪車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○	
車検整備	近馬克之・仲田格・大森秀幸	30.2	○	
材料	笹目高弘・館雅実	12	○	
力学	笹目高弘・館雅実	12	○	
構造機能	笹目高弘・館雅実	12	○	
板金Ⅰ	笹目高弘・館雅実	40	○	
板金Ⅱ	笹目高弘・館雅実	40	○	
塗装Ⅰ	笹目高弘・館雅実	30	○	
塗装Ⅱ	笹目高弘・館雅実	25	○	
損傷診断	笹目高弘・館雅実	10	○	
総合演習	笹目高弘・館雅実	67	○	
自動車検査	笹目高弘・館雅実	10	○	
板金Ⅰ	笹目高弘・館雅実	204	○	
板金Ⅱ	笹目高弘・館雅実	91.8	○	
塗装Ⅰ	笹目高弘・館雅実	136	○	
塗装Ⅱ	笹目高弘・館雅実	74.8	○	
損傷診断	笹目高弘・館雅実	27.2	○	
総合実習	笹目高弘・館雅実	153	○	
自動車検査	笹目高弘・館雅実	27.2	○	
(情報技術3)	助川正己	20		
単位時間総数		2978.4	実務経験のある教員等による授業科目単位時間	2918.4単位時間
省令定めた授業時数		256時間		

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	25.0
科目名	ガソリン1	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、11年、5年
担当教員	雨谷 俊宏 沼口 洋 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会
2級ガソリン
3級ガソリン

《授業科目概要》

2級ガソリン 総論、エンジン本体Ⅱについて学ぶ
3級ガソリン 総論、エンジン本体Ⅰについて学ぶ

《授業の目的・目標》

自動車に搭載されているエンジンの分類と特徴を理解し説明ができる。
4ストローク1サイクルエンジンの作動(各行程)及びバルブタイミングダイアグラムを説明できる。エンジン各部の構成部品(シリンダ・ヘッド～カムシャフト)の名称、役割、構造、作動を説明できる。熱効率、排出ガスの種類、特性、対策を理解し説明できる。
可変バルブ機構について役割、作動を理解し説明できる。

《授業の概要・授業方針》

エンジンは種類から説明しその特徴や性能について理解させる。1サイクルの作動行程の各部品の動きについては実物と図を用いて確認させ理解させる。エンジン内部に入り構成部品、名称、役割を理解させ各部品の連動した動きを伝える。可変バルブについては基本となるバルブ機構習得後に役割や作動説明を行う。熱効率及び排出についても行程と関連させ説明を行う。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	15.0
科目名	基礎自動車工学	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、11年、5年
担当教員	雨谷 俊宏 沼口 洋 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学

《授業科目概要》

自動車の概要、自動車の構造、自動車の機械要素、機械及び潤滑剤、基礎的な原理原則
自動車の諸元について学ぶ

《授業の目的・目標》

1. 自動車の分類ができるようになる。(車両法、用途、エンジン・駆動輪の位置等)
2. 自動車の基本構造、構成部品を理解する。(エンジン、シャシ、電装等)
3. 自動車に使用される機械要素(ねじ、ギヤ、ベアリング等)を理解する。

《授業の概要・授業方針》

1. 自動車の分類ができ、説明できるようになる。
2. 自動車の基本構造、構成部品、役割について簡単に説明できるようになる。
3. 自動車に使用されている部品の機械要素について簡単に説明できるようになる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	16.0
科目名	電子工学1	実務経験教員	有 (ディーラー) 5年、11年、5年
担当教員	雨谷 俊宏 沼口 洋 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 基礎自動車工学 2級・3級ガソリン
基礎的な原理・原則 (電機と磁気) 電気装置 I、II、半導体、バッテリー

《授業科目概要》

電気の基礎的な内容及び次の各装置について、実習授業と連動させた内容で基礎的な構造作動を学習する。

電子・電気関係 (計算含む)、 電磁石・電磁誘導、 半導体、 バッテリー、

《授業の目的・目標》

自動車に使用されている電装品の種類、役割を説明できる。
電気の基礎 (電流、電圧、抵抗等)、オームの法則、電気と磁気の間係を説明できる。
半導体の特性を理解する。
自動車用バッテリーの仕組みを理解し、起電の原理が説明できる。

《授業の概要・授業方針》

自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。

《成績基準・評価基準》

90点以上 : A 80~89点 : B 70~79点 : C 70点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	1年 前期	授業時間数	23.0
科目名	力数1	実務経験教員	有（ディーラー） 5年、11年、5年
担当教員	雨谷 俊宏 沼口 洋 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

<<使用教科書・参考図書>> 聖研出版社 計算問題を解くノウハウ 自動車整備士2級・3級 基礎自動車工学・基礎知識、基礎的な原理原則、基礎自動車工学、自動車の諸元
<<授業科目概要>> 自動車整備を本格的に学んでいくために求められる基礎知識および原理の概要を習得する。
<<授業の目的・目標>> 力と、質量、トルクとモーメント計算について、説明出来るようになる。 排気量、圧縮比、ピストン速度について理解し計算できる。 自動車の変速、変速比について理解する。
<<授業の概要・授業方針>> 自動車の基礎知識および原理の概要を習得し、エンジン系、シャシ系の計算を理解する。
<<成績基準・評価基準>> 90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可） 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する。

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	22.0
科目名	ジーゼル4	実務経験教員	有 (ディーラー) 6年、3年、5年
担当教員	近馬 克之 仲田 格 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

<<使用教科書・参考図書>> 日本自動車整備振興会連合会 2級ジーゼル 3級ジーゼル
<<授業科目概要>> 2級ジーゼル 燃料装置、吸排気装置について学ぶ 3級ジーゼル 燃料装置について学ぶ
<<授業の目的・目標>> 近年の排気ガス対策として登場した、コモンレール噴射装置について構造・制御を理解する。またそれに付随する、排気ガスの後処理装置について、必要性を学び、構造を理解する。
<<授業の概要・授業方針>> コモンレール噴射装置については、主要部品の構造・作動を理解したうえで、ECUの噴射制御について学ぶ。後処理装置については、酸化触媒と尿素SCRシステムの必要性を考え、機能・構造を理解する。
<<成績基準・評価基準>> 90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可) 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 前期	授業時間数	19.0
科目名	シャシ4	実務経験教員	有 (ディーラー) 6年、3年、5年
担当教員	近馬 克之 仲田 格 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ 3級シャシ

《授業科目概要》

ホイールアライメントⅡ ブレーキ装置Ⅱ フレーム及びボディー

《授業の目的・目標》

ホイール、アライメント、ブレーキの必要性和概要
フレーム及びボディーの構造について修得させる。

《授業の概要・授業方針》

ホイール・アライメントの必要性和その影響、ブレーキの構造、機能、フレーム及びボディーの特長と名称を熟知させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	24.0
科目名	検 査	実務経験教員	有 (ディーラー) 6年、3年、5年
担当教員	近馬 克之 仲田 格 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

<<使用教科書・参考図書>> 日本自動車整備振興会連合会 2級シャシ
<<授業科目概要>> 保安基準適合性確保の点検について学ぶ
<<授業の目的・目標>> 道路運送車両法に準ずる点検方法を認識させる。
<<授業の概要・授業方針>> 必要性和安全性、そして環境に基づくことが骨子にあることを理解させる。
<<成績基準・評価基準>> 90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可) 授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	15.0
科目名	故障探求	実務経験教員	有（ディーラー） 6年、3年、5年
担当教員	近馬 克之 仲田 格 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会

2級ガソリン

2級ジーゼル

2級シャシ

《授業科目概要》

2級ガソリン 故障原因探求について学ぶ

2級ジーゼル 故障原因探求について学ぶ

2級シャシ 故障原因探求について学ぶ

《授業の目的・目標》

近年の自動車は大幅な電子制御化が進んでおり、故障した場合の対処方法も以前の自動車とは大きく異なってきている。この単元は今まで学習した電子制御技術を理解したうえで、トラブルを起こした場合、いかに的確な問診を行い、正しい手順で原因を追究し、確実にトラブルから復旧できるよう知識を身に着けることを目的とする。

《授業の概要・授業方針》

ユーザーからの状況の問診方法や、電子制御化されたシステムにおいて、ECUの自己診断機能を外部診断器を使用して故障箇所を特定していく方法、サーキットテスタを使用したワイヤハーネスなどの断線・短絡の確認方法を習得する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	2年 後期	授業時間数	15.0
科目名	法令Ⅱ	実務経験教員	有（ディーラー） 6年、3年、5年
担当教員	近馬 克之 仲田 格 芹田 里美 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

公論出版
法令教本

《授業科目概要》

道路運送車輛法と保安基準、自動車点検基準について学ぶ

《授業の目的・目標》

道路運送車輛法と保安基準、自動車点検基準について理解する。また、二級国家試験合格レベルの知識を習得する。

《授業の概要・授業方針》

法令教本に基づいて内容を理解すると共に、二級国家試験の過去問題のプリントを行って理解を深める。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	26.0
科目名	エンジン工学	実務経験教員	有 (ディーラー) 17年、3年
担当教員	平根 清一 今川 義光 舘 雅実 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

エンジン、筒内噴射式ガソリン・エンジン、コモン・レール式高圧燃料噴射システムについて学ぶ。

《授業の目的・目標》

筒内噴射式ガソリン・エンジン、コモン・レール式高圧燃料噴射システムについて理解させる。

《授業の概要・授業方針》

筒内噴射式ガソリン・エンジンの特徴である成層燃焼と均質燃焼と分けることにより、「低燃費・高出力・環境への配慮」を追求したエンジンとして構造・機能、点検・整備について学習する。コモン・レール式高圧燃料噴射システムの特徴である高圧燃料噴射により PM と NO_x の低減をするための構造・機能、点検・整備について学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 前期	授業時間数	30.0
科目名	システム工学1	実務経験教員	有 (ディーラー) 17年、3年
担当教員	平根 清一 今川 義光 舘 雅実 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

日本自動車整備振興会連合会 一級自動車整備士 自動車新技術

《授業科目概要》

シャシ、無段変速機、車両安定制御装置、SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトについて学ぶ

《授業の目的・目標》

無段変速機、車両安定制御装置、SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトについて理解させる。

《授業の概要・授業方針》

無段変速機、車両安定制御装置の構造・機能、点検・整備について学習する。
SRSエア・バッグ及びテンショナー・シート・ベルトの構造・機能、整備、点検・整備のポイント、SRSエア・バッグの廃棄要領について学習する。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3 年 後期	授業時間数	30.0
科目名	環境論	実務経験教員	有 (ディーラー) 17 年、3 年
担当教員	平根 清一 今川 義光 舘 雅実 国家 2 級自動車整備士 国家 1 級自動車整備士 国家 2 級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト (東京商工会議所)

《授業科目概要》

環境に関することについて学ぶ

《授業の目的・目標》

環境社会検定試験 (eco 検定) に合格できる知識の習得及び自らが持続可能な社会の実現に向けて考え、行動できるようになるための知識等を養う。

《授業の概要・授業方針》

環境問題に取り組んでいく上で必要とされる基礎的な知識、考え方を習得し、人間が将来にわたって地球の環境から、その恩恵を享受し、発展し続けていくためには「持続可能な開発」の考え方に基づく行動が必要であるということを学ぶ。

《成績基準・評価基準》

90 点以上 : A 80 ~ 89 点 : B 70 ~ 79 点 : C 70 点未満 : D (不可)
授業態度 + 学習態度 + 人物評価 + レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	1 級自動車整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	4 年 前期	授業時間数	80.0
科目名	自動車概論	実務経験教員	有 (ディーラー) 17年、3年
担当教員	平根 清一 今川 義光 舘 雅実 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家2級二輪自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

《授業科目概要》

自動車構造整備全般について学ぶ

《授業の目的・目標》

一級自動車整備士技能検定に合格できる技能・知識の習得及び職場での自動車整備作業において必要な各種新技術の構造・機能の理解、注意点等の知識を養う。

《授業の概要・授業方針》

現在の自動車の構造・機能は、安全・環境保全の対策に加えてエンジン性能及び操縦安定性の向上や快適性を重視するため、各装置の電子制御化が進み、今後ますます高度化、多様化する傾向にあるので、これらの技術全般についての学習をする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D（不可）
授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	12.0
科目名	材 料	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年、3年
担当教員	<p style="text-align: center;">笹目 高弘 舘 雅実</p> <p style="text-align: center;">国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士</p>		

<p>《使用教科書・参考図書》</p> <p>車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト</p>
<p>《授業科目概要》</p> <p>自動車を構成する材料には、多くの材料があるため材料構成、諸性質などを学ぶ</p>
<p>《授業の目的・目標》</p> <p>自動車を構成する材料にはきわめて多くの種類があり、それらは使用目的に応じた諸性能、量産性、経済性、リサイクル容易性などの制約によって適宜、選択採用される。その、材料の種類、性質などを理解する。</p>
<p>《授業の概要・授業方針》</p> <p>自動車材料を大きく分別すると、金属材料と非金属材料とに大別される。このうち金属材料は単一元素として用いられることは少なく、合金として使用されるが、その種類、性質を理解する。</p>
<p>《成績基準・評価基準》</p> <p>90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)</p> <p>授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する</p>

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	30.0
科目名	塗装 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年、3年
担当教員	笹目 高弘 舘 雅実 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

塗料の構成・塗料の種類・使用目的及び危険物の取扱い、塗装工程や塗装条件及び樹脂部品の保全と作業者の安全衛生について学ぶ

《授業の目的・目標》

塗装材料、環境の保全と作業者の安全衛生、塗料の取り扱い、管理について学ぶ。

《授業の概要・授業方針》

車体整備に従事する者が塗装作業について理解しておかなければならない項目について理解させる。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する

学 科	車体整備	分 野	工 業
分 類	必 須	授業形態	講 義
開講期	3年 前期	授業時間数	40.0
科目名	板金 I	実務経験教員	有 (ディーラー) 3年、3年
担当教員	笹目 高弘 舘 雅実 国家2級自動車整備士 国家1級自動車整備士 国家車体自動車整備士		

《使用教科書・参考図書》

車体整備協同組合連合会 車体整備士テキスト

《授業科目概要》

損傷の種類及び損傷部分に生じる応力などを学び、車体整備を行っていくうえで必要な基礎知識を学ぶ

溶接機 (ミグ・スポット、ガス溶接機など) の構造や作動原理および使用目的などについて学ぶ

《授業の目的・目標》

電気抵抗スポット溶接が自動車に用いられる理由、注意事項などを理解する。また、ガス・シールド・アーク溶接、ガス溶接についても同様に理解する。

《授業の概要・授業方針》

国家試験出題頻度が高い内容なので、過去問などを参考的に絞った授業をする。

《成績基準・評価基準》

90点以上：A 80～89点：B 70～79点：C 70点未満：D (不可)

授業態度＋学習態度＋人物評価＋レポート評価等を総合的に判断して評価する